

8月「書写 用紙に合った文字の大きさと配列」

8月の書写は、10センチ四方の大きさの半紙に、俳句「さみだれをあつめて早し 最上川」を書く学習に取り組みました。

子どもたちは、用紙の大きさがいつもとは違うことや文字数が多いこと、小筆のみを使うことに最初は戸惑ったようでした。

それでも半紙を折って全体の配置にめどをつけるなど、それぞれが工夫を凝らしました。ひらがなと漢字の大きさもしっかり意識しました。練習を続けるにつれ、字に勢いも出てきました。

どのような作品が仕上がるのかが楽しみです。



時間いっぱい、真剣に学習に取り組みました。